教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
数学	数学Ｂ	普通科・２学年	2

教科書	［主たる教材］ 高等学校数学Ｂ（数研出版）
副教材等	［副教材］ ４プロセス数学Ⅱ＋Ｂ(数研出版)、Ｆｏｃｕｓ　Ｚ数学Ⅱ＋Ｂ(啓林館)

１　学習目標

ベクトル、数列について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

２　指導の重点

① 知識、技能の習得に向けて
　基礎的・基本的な知識の習得及び基礎的・基本的な計算ができるようになること
② 思考力、判断力、表現力の育成に向けて
　既習の知識などを活用してその理由を考察するとともに、それを適切に表現し、処理できるようになること
③ 学びに向かう力の涵養に向けて
　基礎的な知識を応用して、さらに発展的な問題に応用できるような力を培うこと

３　学習計画

月	単元名	教材	学習内容（指導内容）	時間	評価方法
4 5	第１章 平面上のベクトル	第１節 ベクトルとその演算	ベクトルの基本的な概念について理解し、ベクトルの和・差・実数倍やその成分表示について理解する。	10	課題の取り組み 課題テスト
6		第２節 ベクトルと平面図形	位置ベクトルやその有用性を理解し、平面図形の性質などの考察に活用する。	10	授業の取り組み 定期テスト
7 9	第２章 空間のベクトル	空間のベクトル	ベクトルの概念やその有用性を認識し、座標及びベクトルの考えを空間にまで拡張する。	15	
10 11	第３章 数列	第１節 等差数列と等比数列	等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項及び和を求める。	10	定期テスト 課題の取り組み
12 1		第２節 いろいろな数列	いろいろな数列の一般項や和について、その求め方を理解し、事象の考察に活用する。	7	課題テスト
2		第３節 数学的帰納法	漸化式について理解し、与えられた漸化式から一般項を求める。数学的帰納法について理解し、それを用いて命題を証明したり事象の考察に活用したりする。	7	授業の取り組み 定期テスト
3	課題学習			5	レポート

計　64　時間(55分授業)

4　課題・提出物等

・毎週末課題を出し、週の初めに確認テストを行う。
・長期休業中の課題は別途指示する。

5　評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

（関心・意欲・態度）	（思考・判断・表現）（技能）		（知識・理解）
関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
数学の論理や体系に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数学における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。

・学習活動への参加状況
・課題の提出状況
・質問に対する発言や発表の内容
・ﾌﾟﾘﾝﾄや課題の解法内容
・授業中の確認テスト
・定期考査、課題テスト
　などから､総合的に評価します。

6　担当者からの一言

学習の基本である授業を大切にしましょう。受け身で臨むのではなく、自ら積極的に考えることが大切です。
数学Ｂは、数学Ｉ・Ａに比べ学ぶ内容が多く、高度になっています。それゆえ、毎日の家庭学習が不可欠です。授業の内容をその日のうちに復習し、理解できているか確認することが重要です。問題が解け、理解できたときの達成感や満足感を得られるよう、私たちと一緒に粘り強く頑張りましょう。　（担当：坂　野）